



囲碁

◆ 7月30日(水) ~ 31日(木)
◆ 茨城県武道館



開催内容

全国から集まった選手が、男子個人、女子個人、各県の混成3人による団体戦に分かれて、県武道館で2日間にわたり6回の対局を行いました。それぞれ各都道府県の代表として、真剣な戦いを繰り広げました。特に男子個人は全勝者がなく、5勝1敗で6人が並ぶ混戦になりました。また、日本棋院の溝上知親八段(大会開催時)、加藤啓子六段、井沢秋乃四段による指導碁や、交流会での男女の決勝の解説会なども行われました。各選手とも全国から集まった高校生と親交を深めることができたようです。

お礼のことば

茨城県立太田第一高等学校 3年 高柿 黎
(囲碁部門生徒実行委員会委員長)

2014年度の高総文祭を通して、私は貴重な経験をすることができました。

私は、もともと1年生のときから囲碁部門の生徒実行委員会委員をさせていただいて、2年生になってからは生徒実行委員会委員長として活動しました。最初は、本当に自分にできるのか果たして無事に成功させることができるのかと、日々不安や緊張に悩まされていたのは事実です。

本番までに何回か研修や打ち合わせなどをする機会があったのですが、それを通して私の不安や緊張などは少しずつ消えていき、この高総文祭を成功させたいという気持ちが強くなっていました。

しかし、私はどうしたらよいか分からずに、生徒実行委員会委員のみんなや先生方にはたくさんの迷惑をかけてしまいました。そして、自分なりに色々考えた結果、次のような目標を立てました。一つは、高総文祭に来ていただいた方々にこの大会を通じて、良い思い出を作ってもらいたいということで、もう一つはまた茨城に来たいと思ってもらえるようにしたいということでした。

そして迎えた当日、生徒実行委員会委員ではないにも関わらず準備などの手伝いに駆けつけてくださった100人以上の高校生や生徒実行委員会委員のみんなや先生方の協力によって、無事に高総文祭を終わらせることができました。本番中にうまくいなくて悩んでしまった場面も何回かあったのですが、今となってはそれもまた良い思い出です。

また、私はこの大会に選手としても参加しました。そして、全国の高校生たちと、より直接的に関わることもできました。それも、とてもいい体験でした。

今回の高総文祭を成功させることができたのは、生徒実行委員会副委員長や委員会委員のみんな、たくさんの先生方、そしてたくさんの高校生たちのおかげです。みんなには感謝してもしきれません。そして、こんなにも楽しい時間を全国の選手たちと共有できたことにも感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。